



殺意

飯尾憲士＝原作
瓜生正美＝構成・脚本
シライケイタ＝演出

青年劇場の創立メンバーで元代表の瓜生正美は、1944年に学徒出陣で兵役に就いた経験から、戦後は一貫して戦争の悲惨さ、むごさを描くことにこだわり続け、多くの作品を世に送り出してきました。瓜生の思いを受け継ぐ追悼公演として、シライケイタ氏を演出に迎え、1996年に飯尾憲士氏の原作を瓜生が構成・演出した作品、「殺意」に挑みます。

ものがたり

2月の寒い夜のこと、花井トメが老人ホームで死亡したという通知を手にした弁護士の清水大作は、20年前の事件を思い起こしていた。借金の取り立てのもつれから出刃包丁で相手に怪我をさせた殺人未遂事件。70歳を過ぎたトメがなぜ出刃包丁を持って行ったのか。

その真意を探るうち、あの戦争で息子を亡くした母親の心に刻まれた傷の深さを知ることとなり…。

【瓜生正美 (うりゅうまさみ) 略歴】

劇作・演出家。

1924年 北九州市若松区(現)生まれ。

1964年 7名の仲間と「秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場」を創立。1997年まで代表を務める。

2021年6月27日逝去。享年96歳。



【主な作品】

「ホヤわが心の朝」(福田紀一原作) 脚本・演出 1979年～81年

「青春の砦」(大谷直人原作) 脚本・演出 1980年～87年、95年

「シシとササの伝説」(大谷直人「春雷」より) 脚本・演出 1986年～91年

「椰子の実の歌がきこえる」(千田夏光作品集より) 脚本 1991年

「カムサハムニダ」(飯尾憲士原作「ソウルの位牌」イム・ヨウウン演出) 脚本 2001年

「呉將軍の足の爪」(パク・ジョヨル作) 演出 2008年

出演



葛西 和雄



藤木 久美子



高安 美子



菅原 修子



吉村 直



湯本 弘美



北 直樹

2022年12月6日(火)～18日(日)
青年劇場スタジオ結

12月	6 火	7 水	8 木	9 金	10 土	11 日	12 月	13 火	14 水	15 木	16 金	17 土	18 日
14:00	—	●☆	●	—	●☆	●☆	休演日	●☆	●	●☆	—	●	●☆
19:00	●☆	—	●☆	●☆	—	—	休演日	—	●☆	—	●☆	●☆	—

☆アフタートークあり(登壇者は後日ホームページにてお知らせします)

前売 一般＝4,500円 U30(30歳以下)＝3,000円
中高生シート(各ステージ5席限定・前売りのみ)＝1,000円

当日 一般＝4,800円 U30(30歳以下)＝3,300円
※料金はすべて消費税込です。

◎日時指定・自由席

◎障害者割引(4,000円)・団体割引あり

◎開場は開演の30分前です。

◎劇場は階段を下りた地下2階にございます。

エレベーターはございませんのでご了承ください。

※新型コロナウイルス感染拡大に伴う変更など最新の情報は

劇団ホームページ、またはお電話でご確認ください。

10月28日
発売!

配信 本公演の映像配信(有料)を予定しています。

予定 詳しくは劇団ホームページまたはお電話でご確認ください。

青年劇場スタジオ結 (間川ビル地下)

東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前」駅出口1・3より徒歩3分



青年劇場チケットサービス 03(3352)7200

ticket@seinengekijo.co.jp

https://www.seinengekijo.co.jp/

